

斗力くはく心く力く情を案とつるよ後
すかろくはせようるまき 我枕傍情あけ平
りまき又涙祭乃火坑あへんりりら
益しゆ情を情愛れせいめくをまかむし
伎古墓何代人うとよひもも樂天乃詞者
乃川かよ墓うへく心くるん心おし
不ぞん志しも富んをよしりあかり栖くを本
来三鬼必宅れ申るの 時刻 出来
為汝へら申えん時ハ 白人牛れ車を敵の手に
まへられしうれハ 前れまけを志侍んき
あかー変化而執乃建をいふんし 園成
實性乃情をひくうんよいと木を初く年木
伊別——はかわか沼傾少く頼——園林ん書
あともりゆひのりくつく頼肥乃家を
出雲捉のあよ入らけい 妻子眷属しあゆ
な——なまきしよかほらわいせぬあらん

